

これからの 地域社会のために

川崎市議会議員(中原区)

いど清貴

きよたか

私たち市議会議員は、市民の代表として、市政の方針を決定したり、市政の運営を監視したりすることです。



令和7年度第1回市議会定例会のご報告

「令和7年度第1回市議会定例会」が2月13日から開催され、3月19日で閉会となりました。本定例会では、令和7年度予算(案)を中心に審議・議論してきました。所属会派の代表質問が2月27日に行われ、3月6日～11日において議員が予算について議論する予算審査特別委員会があり、昨年から力を入れてきた「AED」「産後ケア」の質問に加え、「職員の研修費」「防災井戸」について質問を行いました。今号では代表質問、予算審査特別委員会でのトピックスをご報告させていただきます。



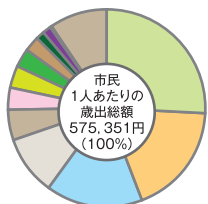
▲議場で質問をするいど清貴

予算メモ

令和7年度当初予算で
8,927億円。
そのうち、4,048億円を
市税が占めています。

市民一人当たり
575,351円が
市民生活に使われています。

保険・医療・福祉	150,277円
子育て支援	104,578円
学校教育・生涯学習	91,089円
道路・公園緑地・河川・下水道整備	55,965円
行政運営	28,614円
計画的な街づくり	21,387円
環境・リサイクル	19,963円
地域経済の発展	17,077円
区政の振興に	14,353円
港湾整備	9,506円
共生・参加の街づくり	8,160円
交通・水道の経営安定	1,097円
その他	53,285円



▲川崎市ホームページ、予算の使い道から引用
(2025年1月1日現在の推計人口による)

代表質問の主なトピックス

市税収入、 前年度比5%増の 4,048億円。 過去最大。

令和7年度川崎市予算は一般会計で8,927億円と前年度比2.5%増(+約215億円)となり、2年連続で過去最大となっています。一方で歳入は市税収入が4,048億円と、前年度比5%増(+約194億円)で4年連続で過去最大の見込みとなっています。他都市と比較しても堅調な様子が伺えますが、主たる要因について質問しました。

歳出全体では、359億円増、 結果、92億円収支不足か。

A. 令和7年度予算については、所得及び企業収益の増加による市税収入の増などにより、歳入全体では、収支フレーム(見通し)に対して306億円増となったところ。一方、給与改定の影響や物価高騰等による「管理的経費・政策的経費」増などにより、歳出全体では、収支フレームに対して359億円増となり、その結果49億円と見込んでいた収支不足額は、予算では92億円となり、43億円拡大しました。収支不足については、安定的な市民サービスの提供や先送りできない課題に対応するため、減債基金を活用しているとの答弁でした。

がん当事者の 先輩議員が提起、 アピアランスケア助成制度。

県のアピアランスサポートセンターは、神奈川県立がんセンター内に設置されています。化学療法による脱毛や皮膚のくすみなど、がんの治療に伴う、外見上の変化による影響にどのように対処していくのか情報提供をしながら、相談員が患者さんと一緒に考えます。同制度については令和4年3月の予算審査特別委員会で所属する会派の大先輩である故・飯塚正良議員が、がん治療当事者としての視点と他都市の先例等をふまえて最後に取り上げた課題で、制度創設を強く要望してきました。今回の予算において助成制度が計上され、政令指定都市で初めて、がん患者のみならず、先天性・事故・がん以外の病気の方等も対象としました。そこで対象者への効果的な周知・広報について質問しました。

A. 周知は市ホームページや広報物で行い、助成対象者には医療機関を通じて相談や情報提供の協力を求めています。



他にも

「大規模道路陥没事故を受けた対策について」や「学校給食物資購入費について」「学校における水泳授業について」などを取り上げ質問しました。

一般質問トピックス



▲イメージ写真

24時間365日使える AEDが増えてます！

昨年、議会で要望した24時間365日使えるAEDの屋外設置が実現へ進んでいます。新年度の予算でコンビニ等への設置を含め、市内で24時間利用可能なAEDは48台から「約6倍」の289台に大幅増加、川崎市全体では742台の設置台数となります。また、多摩川土手など固定式AEDの設置が難しい場所では、市民主催のイベントや大会での貸出が可能になるよう区役所と調整を進めており、令和7年度の早い時期から貸出が開始される予定です。



5,238件。
川崎市における
児童虐待相談・通告

〔令和5年度〕

**0歳児への虐待件数が
1・2歳児の約2倍。**
産後うつや
育児不安など
対応強化は急務。

川崎市では0歳児への虐待件数が1・2歳児の約2倍あり、産後うつや育児不安などへの対応強化は急務です。訪問型ケアは既に1歳未満まで対象を拡大していますが、日帰り型・宿泊型も同様に1歳未満まで拡大する検討が必要と考えます。ただし、安全・安心を第一に、事業者側の状況やニーズも考慮した慎重な検討が求められます。

川崎市の出生数は
8,551人。

うち産後ケア事業の利用状況

訪問型	1,098人 (12.8%)
宿泊型	561人 (6.5%)
日帰り型	586人 (6.8%)
日帰りロング型	44件

(令和5年10月～12月)



▲イメージ写真

自分たちの命を 自分たちで守る。



AED×メモ

**AEDが近くにない！
救急車が到着するまで
できること**

胸骨圧迫で血液を全身に送ります。ひじを伸ばし、垂直に体重をかけ、成人は深さ約5cm、小児は胸の厚さの約1/3くらい沈みこむように、1分間に100～120回のテンポで強く速く胸を押します。胸を完全に元の位置に戻すために、圧迫と圧迫の間に胸壁に力がかからないように注意することです。

AEDをやってはいけないこと ⚠

「意識がある場合」「呼吸している場合」「脈拍が確認できる場合」でのAED使用はできません。つまり、心停止に至っていない場合には使用してはならないと言われています。

※上記、メモはあくまでも参考としてください。



治療や医療処置が必要な
母親への宿泊ケア事業は、
市内でたった3ヶ所のみ。
子育て世代が多い中部エリアには
実施施設がなんと0ヶ所。
医療機関宿泊ケア事業所拡充を。

現在、医療的ケアや虐待予防が特に必要な生後4ヶ月未満の乳児とその母親への宿泊ケア事業は、市内で3ヶ所(川崎市1ヶ所、麻生区2ヶ所)のみ。特に子育て世代が多い中部エリアには実施施設がありません。そのため中部エリアへの事業拡充を要望し、子ども未来局長からも関係機関との調整を進めるとの前向きな答弁をもらいました。

PROFILE

いど清貴(37歳)

1987年11月20日生まれ、中原区下小田中在住
拓殖大学卒業後、富士通グループに入社社員を経て
2023年4月施行の第20回統一地方選挙
中原区選挙区より挑戦、6,619票を獲得し初当選、
2023年5月より川崎市議会議員
会派：みらい川崎市議会議員団、まちづくり委員会

いど清貴
きよたか
YES, I DO!



詳しくは
ホームページを
ご覧ください



LINEからも対話できますので
お気軽にご連絡ください。



LINE